

歯周組織炎 (P急発など) (感染性)口内炎で、 患者さまへ **投薬** できます。

処方箋										
(この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。)										
公費負担者番号				保険者番号						
公費負担医療の受給者番号				被保険者証・被保険者手帳の記号・番号 (枝番)						
患者	氏名		保険医療機関の所在地及び名称							
	生年月日	明大昭平令 年 月 日	男・女	電話番号			保険医氏名			
	区分	被保険者	被扶養者	都道府県番号	点数表番号	医療機関コード				
交付年月日		令和 年 月 日		処方箋の使用期間		令和 年 月 日		特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること。		
処方	変更不可 (個々の処方薬について、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更にし支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。)									
	<p>テトラサイクリン・プレステロン歯科用軟膏 5g × 1</p> <p>1日 4回、毎食後及び就寝前に塗布</p>									

綿棒または指でくすりを塗布



抗生剤に加え、
抗炎症剤を配合

歯科用抗生物質製剤 医薬品 薬価基準収載

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏



【包装】5g×10本入(チューブ) 【貯法】室温(1~30℃)・遮光保存
●用法・用量、禁忌、使用上の注意については添付文書を参照してください。

レセプトへは **TCPS パスタ** と略称記載が可能です。

有効成分

抗生剤

テトラサイクリン

歯周炎治療に有効なテトラサイクリン系の抗菌剤です。

プラス

抗炎症剤

プレステロン

抗炎症作用、鎮痛作用、治癒促進作用を有します。

投薬

● 患者様への投薬が可能

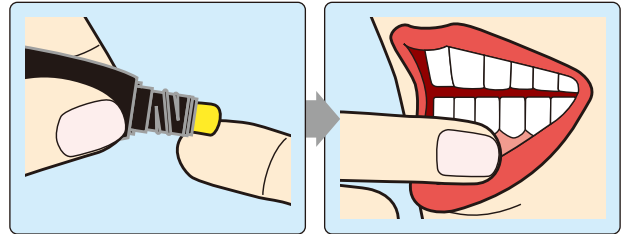
患者様への説明に便利なくすりのしおりは弊社ホームページまたはくすりのしおりホームページ (<http://rad-ar.or.jp/siori>)よりダウンロードできます。

適応症

- 歯周組織炎の治療に
- 抜歯創・口腔手術創の二次感染予防に
- 感染性口内炎の治療に

使用方法

- ① ご使用前に患部（炎症部位）を清潔にし、唾液や滲出液を脱脂綿などで、できるだけ拭き取ってください。
- ② 清潔な手指や綿棒などに軟膏を適量取り、1日に数回患部に塗布、またはよく擦り込んでください。
- ③ 塗布後はしばらく（1時間程度）うがいや食事を控えてください。



歯科用抗生物質製剤

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏

TETRACYCLINE PRESTERON

販売名	和名	テトラサイクリンプレステロン歯科用軟膏	日本標準商品分類番号	87276
	洋名	TETRACYCLINE PRESTERON	承認年月日	1960年4月20日
一般名		テトラサイクリン塩酸塩エピジヒドロコレステリン	承認番号	13513KUZ04123000
貯用法		遮光・室温保存	薬価基準収載	1965年11月(初回収載)
使用期限		2年		2004年7月(再収載)

禁忌(次の患者には使用しないこと) テトラサイクリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴のある患者

組成・性状	1g中に有効成分として日本薬局方 テトラサイクリン塩酸塩 30mg(力価)、エピジヒドロコレステリン20mg、添加物としてカルメロースナトリウム、白色ワセリン、サラシミツコ、ハッカ油を適量含有する黄色の軟膏である。						
効能・効果	〈適応菌種〉テトラサイクリン感性菌 〈適応症〉歯周組織炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染、感染性口内炎						
用法・用量	1日数回、患部に適量を塗布又は塗擦する。【用法・用量に関連する使用上の注意】 本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の使用にとどめること。						
使用上の注意	重要な基本的注意 感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い、感作されたことを示す徴候(痒疹、発赤等)があらわれた場合には使用を中止すること。	高齢者への投与 一般に高齢者では副作用があらわれやすいので、大量又は長期にわたる使用に際しては特に注意すること。					
	相互作用 併用注意(併用に注意すること) <table border="1"> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> </tr> <tr> <td>ハロゲン剤(ヨード、次亜塩素酸)、金属の塩類</td> <td>本剤の作用が減弱することがある。</td> </tr> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	ハロゲン剤(ヨード、次亜塩素酸)、金属の塩類	本剤の作用が減弱することがある。	妊婦、産婦、授乳婦等への投与 妊娠中の使用に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。また、長期使用を避けること。	
	薬剤名等	臨床症状・措置方法					
	ハロゲン剤(ヨード、次亜塩素酸)、金属の塩類	本剤の作用が減弱することがある。					
副作用 ● その他の副作用 本剤は使用成績調査等の頻度が明確となる調査を実施していないため、副作用発現頻度については不明である。 下記のような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">頻度不明</th> </tr> <tr> <td>過敏症</td> <td>発疹等</td> </tr> <tr> <td>菌交代現象</td> <td>テトラサイクリン非感性菌による感染症</td> </tr> </table>	頻度不明		過敏症	発疹等	菌交代現象	テトラサイクリン非感性菌による感染症	小児等への投与 長期連用により歯の着色・形成障害をきたすおそれがある。
頻度不明							
過敏症	発疹等						
菌交代現象	テトラサイクリン非感性菌による感染症						
有効成分に関する理化学的見	<p>1. 一般名：テトラサイクリン塩酸塩(Tetracycline Hydrochloride) 化学名：(4S,4aS,5aS,6S,12aS)-4-Dimethylamino-3,6,10,12,12a-pentahydroxy-6-methyl-1,11-dioxo-1,4,4a,5,5a,6,11,12a-octahydrotetracene-2-carboxamide monohydrochloride 分子式：C₂₂H₂₄N₂O₈·HCl 分子量：480.90</p> <p>構造式：</p> <p>性状：本品は、黄色～帯微褐色の結晶性の粉末である。本品は、水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくい。</p>	適用上の注意 1. 使用の際は、患部の唾液等を脱脂綿等で拭き取り、患部をなるべく乾燥させること。 2. 塗布後はしばらく(1時間程度)うがいや食事を控えること。 3. 歯科用のみ使用すること。					
包装	5g×10本(チューブ)、0.6g×10本(カートリッジ型容器)						

別包装品

院内処置に

歯科用抗生物質製剤

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏

【包装】0.6g×10本入(カートリッジ型容器)

販売店名

Nippon Shika Yakuhin Co., Ltd.